

**渋谷リバー通りのイルミネーションがリニューアル！  
2026年4月1日(水)からイルミネーションによる環境演出を開始します！**

**微生物の力で発電するbotanical lightを通して目にはみえない存在や生き物へ想いを馳せる**

東急株式会社

当社は、大規模複合施設「渋谷ストリーム」から「渋谷ブリッジ」方面をつなぐ遊歩道「渋谷リバー通り」において、イルミネーションを3年ぶりにリニューアルし、2026年4月1日(水)から新たな演出を開始します。

渋谷リバー通りは2018年の渋谷ストリーム開業に合わせて、旧東横線渋谷駅の地下化により地上にあった線路跡を整備して生まれた遊歩道です。同時期に渋谷川も開渠化され、官民連携により清流として整備されました。

渋谷ストリーム開業以来、渋谷ストリーム前 稲荷橋広場から渋谷リバー通り沿い、また、渋谷川も照らす演出としてイルミネーションを設置し、都市空間の中にある貴重な水辺空間・自然環境である渋谷リバー通りの水辺魅力創出や回遊性向上を目指してきましたが、この度、さらなる魅力向上を目指し、「SHIBUYA FLOWSCAPE」をコンセプトに掲げたイルミネーションのリニューアルを実施します。

新概念である「SHIBUYA FLOWSCAPE」は、渋谷川を流れる水の動きや、川沿いを通り抜ける風、季節の移ろいといった自然のリズムを光で可視化し、都市の中にある自然の存在を体感できる風景を創出することを目的としています。遊歩道沿いには、柔らかく揺らぐ光のラインや、川面のきらめきを想起させる光の演出を配置し、川沿いを歩く人々の動線に寄り添うような光の風景を形成します。

また本演出では、株式会社グリーンディスプレイが開発する植物発電技術「botanical light」を用いた光の演出の一部を導入しています。渋谷リバー通りの植物と土壌の微生物の働きによって生まれるエネルギーを活用した電源不要の光が、植物の生命活動を感じさせるような繊細な光として空間に表れ、都市の中で自然の息づかいを感じられる景観を生み出します。

さらに、一部エリアの樹木を照らすアップライトの演出では、川沿いの空気環境(温度・湿度・風の状態)をセンシングし、その変化を光の色のグラデーションやゆらめきとして表現する新たな試みも導入しています。これにより、その時その場所に流れている空気の状態が光の変化として現れ、訪れる人々が体感する風や空気の流れと光の表現が重なり合うことで、自然と都市空間のつながりを感じられる演出となっています。時間帯や季節に応じて光の表情が変化することで、訪れるたびに異なる風景を楽しむことができ、昼間とは異なる夜の水辺空間の魅力を生み出します。



▲渋谷川を照らすイルミネーション



▲空気の状態に合わせて変化する光の演出



▲botanical lightによるイルミネーション演出

当社は、今後も本取り組みのような先進技術と公共空間の融合を通じて、渋谷リバー通りをはじめとした渋谷エリア全体の賑わいと魅力の向上を目指します。

以上

## 【別紙】

### ■実施概要

○期間

2026年4月1日(水)～2029年2月28日(水) ※予定

○場所

渋谷ストリーム前 稲荷橋広場、金王橋広場、渋谷リバー 스트リート

### ■植物発電『botanical light(ボタニカルライト)』とは？

植物と共存する微生物が生命活動を行う際に、土や水の中で放出される電子を利用して発電しています。植物が育つ土壌や水辺に電極を設置するだけで電源がなくても、植物が元気に育つ環境があれば電力を得ることができる未来のエネルギーです。

### 【植物発電の仕組み】

botanical light.

## 植物の力で発電する「ボタニカルライト」とは？

植物と共存する微生物が生命活動をする際に、土や水の中で放出される電子を利用して発電しています。

植物が育つ土壌や水辺に電極を挿しておくだけで電源がなくても、植物が元気に育つ環境があれば電力を得ることができる未来のエネルギーです。

**特長**

- 電源不要、植物の力で光を灯すことができます。
- 植物が生き続ける限り長期的に発電が可能です。
- 発電の際に排出されるのは水のみで環境にやさしい。

**POINT**  
従来より効率が良い  
マグネシウムの劣化を抑え  
継続的な発電が可能

1 植物が光合成で糖(デンプン)をつくる

2 土中の根にいる微生物が糖を食べて分解し電子が発生する  
電極が土中の水分や肥料に反応することでも電子は発生する

3 発生した電子が一極のマグネシウムから+極の備長炭へ流れる際に電気が発生する

### 【株式会社グリーンディスプレイについて】

グリーンディスプレイは、商空間やオフィス空間などの人々が集う場所に、植物を用いた環境演出や季節や旬を表現する空間演出を提案しています。

都市生活の中で、植物のある空間の心地よさや、一年を通して移り変わる季節の楽しみを感じて頂くためにクリスマスなどのシーズンディスプレイの提案も企画から施工、メンテナンスまで一貫して行なっています。

近年は、植物と土壌微生物の働きを活用して電気を生み出す植物発電技術「botanical light」の開発にも取り組み、自然のエネルギーや環境の変化を活かした新しい都市演出の可能性を広げています。

## ■施設情報

施設名称 渋谷ストリーム(SHIBUYA STREAM)

住所 東京都渋谷区渋谷 3-21-3

アクセス JR・京王線・東京メトロ・東急線 渋谷駅  
1番出口より徒歩1分

URL <https://shibuyastream.jp/>

事業主体 渋谷駅南街区事業推進者東急株式会社

敷地面積 約6,719 m<sup>2</sup>

延床面積 約116,000 m<sup>2</sup>

階数地 地上 35階、地下 4階

設計者 株式会社東急設計コンサルタント

デザイナー・アキテツ: 小嶋一浩 + 赤松佳珠子 / シーラカンズアンドアソシエイツ(CAt)

施工者 渋谷駅南街区プロジェクト新築工事共同企業体(東急建設株式会社・株式会社大林組)

以 上